

使いたくなる、伝えたくなる「和食」体験

「和食」を家庭や学校や地域で伝える機会があること、発信することが大切。知って、やってみて、話そう!

和食の「おもてなし」は双方向

料亭でしつらいやマナー、おもてなしを体験しました。

- もてなし側
- ・打ち水
- ・手入れされた庭
- ・季節の花や掛け軸
- ・季節感溢れる料理
- ・季節感のある器など

- もてなされる側
- ・もてなしを喜び、感謝を言葉で伝える
- ・美味しく、楽しくいただきます

繊細な器を傷つけないよう大きな指輪は外すことも気配りです♡



もてなし側ともてなされる側の心が通い合います

普段の食事でも、作る人は食べる人のことを思いながら料理し、食べる人はその気持ちに感謝しながらいただきます。それも大切な双方向の「おもてなし」だと思います。

「和食」に息づく「しつらい」とは

料理だけでなく場をととのえて、もてなしの準備をすること。季節の花を飾る、夏は涼しげ、冬は暖かに空間コーディネートをするなどがあります。

「一汁三菜」クッキング

一汁三菜の食事作りに挑戦!

野菜を中心とした料理。

芋、きのこ、海藻、豆類も使える。



一汁三菜とは

「ご飯」「汁」「香の物」に、「お菜」が3品添えられる組合せ。和食の基本形。

魚や大豆製品、卵、肉などタンパク源の食材の料理。

発酵調味料の味噌を使った味噌汁など。

一汁三菜の特徴 季節の様々な食材を使い、バラエティ豊かで彩りも良い。エネルギーバランスが良い上、いろいろな栄養素がとれる。発酵食品や発酵調味料を使う。

あなたにぴったりの箸のサイズは「ひとあた半」
指をあてて測ってみてね!



この長さの
1.5倍

90°

親指と人差し指を直角に開いた時の、指先と指先の間の長さ「一咫（ひとあた）」の1.5倍=ひとあた半が自分の手に合うお箸の長さになります。手に合う長さの箸は持ちやすく、使いやすいです。

0cm 5cm 10cm 15cm 20cm



北陸学院大学短期大学部 食物栄養学科 ミッション食育グループ

「和食」は単に料理を指すだけでなく、自然を尊重する日本の風土の中で育まれてきた、日本人の伝統的な文化です。この文化を次世代へつなぐきっかけ作りとして、ミッション食育グループでは、若い世代の和食への認知度や興味関心を高め、和食に親しむ食育イベントを企画運営しました。

2018年9月22日(土)

うま味と箸のワークショップ

2018年11月24日(土)

和食のマナーとしつらいの講座

2018年12月22日(土)

おせち＆もちつき体験

2019年2月2日(土)

一汁三菜クッキング



だしのうま味が 四季の素材の味をいかします

うま味について学び、いろいろなだしを味わいました。

だしは、汁物や煮物など様々な料理のベースとして使われます。うま味が多く香り高いだしを使うことで、調味料控えめで素材の味を楽しむことができます。



好きな味噌汁の具はどれ?

ほうれん草と卵／ほうれん草とえのき／さやえんどうと卵／かぼちゃとたまねぎ／なすとみょうが／なすとそらめん／大根と油揚げ／大根と人参と卵／白菜とちくわ／かぶとかぶの葉／もやしとベーコン／じゅが芋とわかめ／里芋と油揚げ／さつまいもと小松菜／きのこ／岩海苔／もずく／豆腐とわかめ／豆腐となめこ／麸とえのきと卵／あさりとねぎ／カワハギとねぎ／豚肉とセロリ／豚汁／柏汁／みみれ汁

具材からもううま味が出ておいしさアップ!



食べたくなったら・・・

ミッション食育グループのInstagramへGO!

おいしいだしのとり方、

おいしい味噌汁の作り方を紹介しています♪

お箸をみんなふうに持っていますか?

お箸文化を学び、お箸の持ち方を再確認しました。

上の箸と下の箸の間隔を十分に空ける。

下の箸は動かさない。

動かす指は人差し指と中指だけ。

親指は支える役割。



お箸の正しい持ち方

活動の詳細、レシピは
Instagram



裏面は、一汁三菜のランチョンマットになっています。あなたの一汁三菜の食事をぜひ並べてみて下さいね!

主食

副菜

副々菜

香の物

汁

主菜